

国蝶舞うふれあいの森伊勢崎を目指して おもてなし植樹会

この「おもてなし」は、地域の森林ボランティア団体、事業者、行政等と一緒に、「地域の豊かな緑」で「観光客や地域住民をおもてなしする」ための緑化活動を行うものです。

おもてなし事業4年目の今回は、10月18日(日曜日)に真岡市伊勢崎「ふれあいの森伊勢崎」を会場に植樹会を行いました。

この「ふれあいの森伊勢崎」は、地元の方々が団体を立ち上げ、10年に渡って整備してこられた場所で、毎年6月には「あじさい祭り」が盛大に開かれ、地域の交流の場であるとともに、カブトムシをはじめ、様々な生物が生息し自然観察の場となる、真岡市内でも有数の里山林です。

今回は、国蝶であるオオムラサキが舞うような環境づくりをしていきたいとの思いを込め、エノキとロウバイを植樹しました。
その様子をお伝えします。



当日は前日の雨天とは打ってかわって晴天に恵まれ、絶好の植樹日和となりました。

地元の皆さんに見守られながら植樹会スタートです。



左から順に
栃木県県東環境森林事務所長、
ふれあいの森伊勢崎代表
真岡市副市長
の方々です。



グリーンアドバイザーの高橋さんから、
県土緑化のメッセージを伝えていただきました。

「エノキ」の植栽の様子です。



ふれあいの森伊勢崎、真岡市、
県東地区“エコ・もり”地域推進協議会の会員である
キャノン株式会社宇都宮事業所の方々に
ご協力いただきました！



ふれあいの森伊勢崎に参加されている「とちぎ森づくり
サポーター」の方にもご協力いただきました！



植樹後にはみんなで記念写真
気持ちのいい陽気での植樹会になりました！



大きく育ってオオムラサキが住みやすい環境になりますように。



整備されたきれいな里山林がずっと続いていくといいですね。

今回のイベントにご協力、ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

※集合写真の時以外は、ソーシャルディスタンスを保って実施しました。